
藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会 第3回藤沢駅南北まちづくり市民検討部会

目指すべき将来像に対する課題について

1. 検討の進め方
2. 委員会に向けて

2010年（平成22年）11月8日

第2回藤沢駅南北まちづくり市民検討部会での課題の検討

◆中心商業地の対応
(コアゾーン、サポートゾーン)
【早期に対応すべき地区として本部会で主に検討】

- 将来戦略の展開に関する課題の整理
- 基本構想の検討

○本商業地のあり方について大胆な仮説をたて、そのための戦略を検討して現実とのギャップから課題を整理

本地区の仮説
＜質の高い環境ライフスタイルを
実践するまち＞
(ロハスな生活を実現するまち)

- 仮説にもとづく戦略
- ①安全・快適な通りや空間などの場のあり方
 - ②物販・飲食・サービス等の業種・業態のあり方
 - ③住機能のあり方
 - ④コミュニティインフラのあり方
 - ⑤文化・エンタテインメントのあり方
 - ⑥交通処理のあり方
 - ⑦まちなみや景観のあり方
 - ⑧湘南らしさ、藤沢駅周辺商業地らしさのあり方

現在の商業地状況

課題の抽出(未完了)

- ・現況の保全が課題:既に適切に行っている
- ・現況の阻害排除が課題:マイナス方向に進んでいる
- ・現況での不足が課題:(十分に)やっていない

◆対応方針

- ・地区の将来像の仮説、仮説に基づく戦略の方向性は間違っていないという評価を受けたが、戦略については緊急性、実現性などで軽重をつけて検討する。
- ・先進的なまちづくりを行っている自由が丘駅の周辺地区について比較検討する。

○「戦略1安全・快適な通りや空間などの戦略」を中心として、歩行を動機付ける沿道における「戦略2物販・飲食・サービス等の業種・業態の戦略」、沿道空間や施設を活用した「戦略5文化・エンタテインメントの戦略」、歩行空間の質を高める「戦略7まちなみや景観の戦略」を関連させて、現況を評価する。

○前回完了していない保全、阻害、不足の3要素を勘案して課題を抽出する。

○比較材料として、目黒区の自由が丘駅周辺商業地の分析を行う。

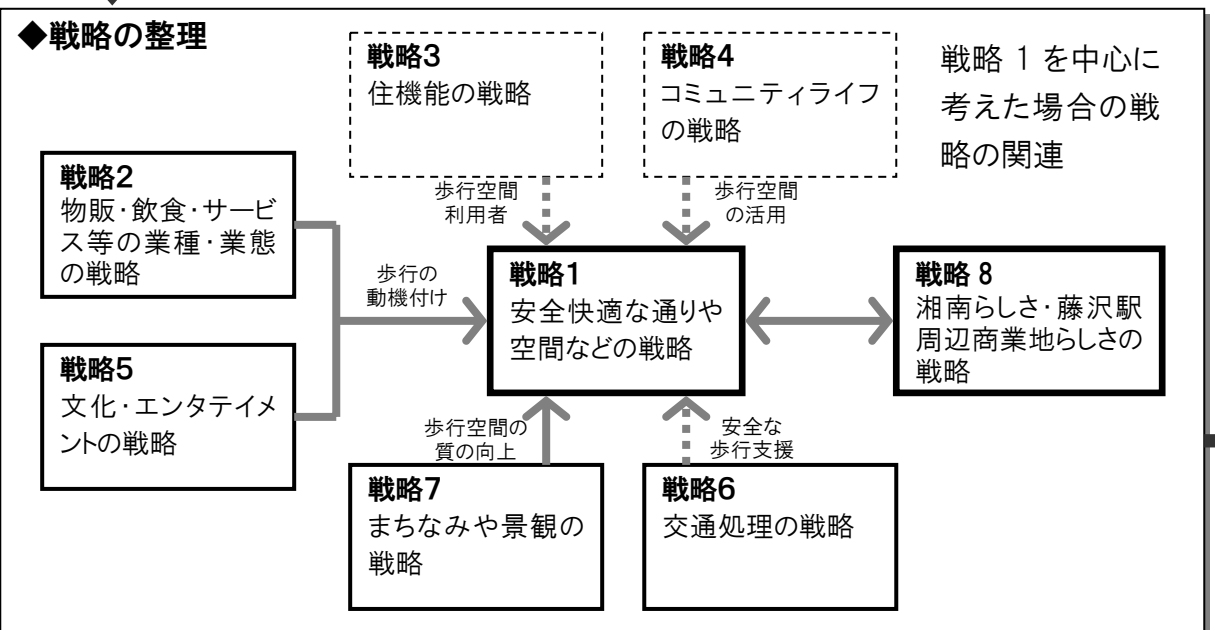


◆第2回藤沢駅南北まちづくり市民検討部会の指摘事項(まちづくり戦略について)

- ・江ノ島、鎌倉を背景にもつ本地区としては「ロハス」の仮説は充分ありうる。
- ・8つの戦略は相互に関連しており、検討量が大きくなるので絞り込んで検討を進めてはどうか。
- ・仮説としては良いが全ての実行は困難で、方向性だけでも外部に示せればポテンシャルは上昇する。
- ・8つの戦略で網羅されていると思うがメリハリが必要である。
- ・今の段階では戦略はもう少し大雑把にまとめてもいいと思う。
- ・ナショナルチェーンと同じやり方では個人商店は太刀打ちできないので、違う戦略をもつ必要がある。

(今後に向けて)

- ・駅ナカの影響を把握できるデータがないか。
- ・駅利用の歩行者の現在の動態を分析できる資料がないか。
- ・移転先は別として、都市の装置として、市役所等公共施設のあり方についても検討項目に入れる。
- ・本地区と比較できる都市として「自由が丘」を分析してみてもどうか。
- ・次回は現状との乖離、自由が丘との比較等について資料を提示する。



◆課題抽出の視点例

- 安全で楽しく歩ける歩行者空間が実現しているか
- まちなかでイベントや交流などが行われているか
- 沿道施設のデザインや、ストリートファニチャーは良好みか
- 沿道に人を引き付ける店舗や施設があるか

◆自由が丘との比較検討

◆課題の抽出

写真はグーグル画像各HPより

【第3回藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会に向け、これまでの藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会及び藤沢駅南北まちづくり市民検討部会で示された対応方針について】

